



Grid House

YAMAGUCHISANGYO
MEMBRY PRODUCTS.

山口産業 株式会社



WRAP THE FUTURE
MEMBRANE LAB.

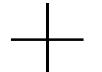
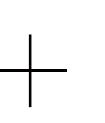
山口産業は、膜構造の提案・製造を通して、幅広い事業領域で課題解決に取り組みます。

まったく新しいアイデアやこれまで誰もやらなかったチャレンジは、多くの場合「できるわけがない」「そんなの馬鹿げてる」と否定されます。

けれど、私たち山口産業は違います。

「できない」と考えるよりもむしろ、難しいからこそ挑む価値があると考えるからです。

不可能と思われるほどの困難の先には、きっと今まで見たことのない世界が待っているはずですから。



設計、製造、施工まで 一貫した自社体制

豊富な実績、ノウハウを持ったテントマイスターによる提案～設計(構造計算)～製作～施工まで全国の案件に対応致します。

ニーズに合わせた オーダーメイド

今までの製品の規模・概念にとらわれずお客様のニーズに合わせてシート1枚から大規模案件までオーダーメイドで製作。

ISO認証取得工場 (本社)の品質

ISO9001を取得した認定工場で日々品質向上に努め納品後も全国拠点からの安心のアフターサービスを致します。

山口産業は、膜構造の提案・製造を通して、幅広い事業領域で課題解決に取り組みます。



Membrayは、「Membrane (膜)」と「Brilliant (輝かしい)」の造語です。
山口産業が提供する製品の総合 (ブランドネーム) です。

産業倉庫の提案



より効率的に柔軟に、
企業課題を解決する。

産業用のテント倉庫や伸縮式テント、移動式テントなどをオーダーメイドでカタチしていく山口産業の基幹事業。短納期・低コスト・耐候性など、膜材を使用するメリットを最大限に活かし、クライアントの要望に応えます。

建築・公共空間の提案



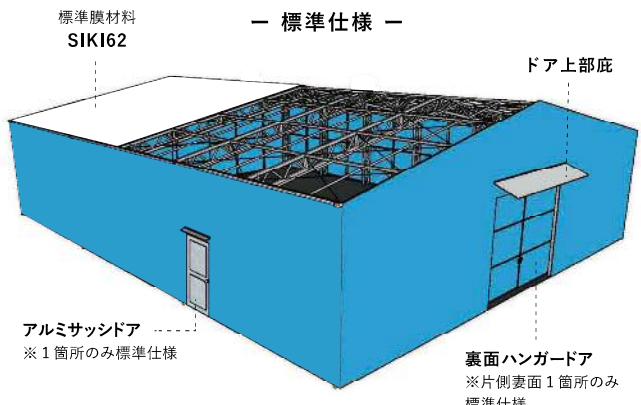
快適性と安全性を追求し、
ユーザー課題を解決する。

柔軟かつ強靭な膜材を自由に設計することで、シェードセイルや膜天井、イベント用テント、遊具など、機能的な膜構造物を幅広く開発・製造。快適な街づくりを目指し、公共空間にデザイン性やエンターテイメント性を演出していきます。

規格化テント倉庫 Grid House

品質はそのままに 短納期・低コスト化を実現

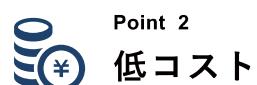
Grid House は、倉庫本体のサイズをあらかじめ規格化する事で、従来品に比べ短納期且つ低コストを実現しました。規格化倉庫でありながら、多数のサイズバリエーション（36 種類）からお選びいただけます。また、標準仕様に追加オプションを設置する事で、より効率的にご使用いただけるように設計されております。



Grid House のメリット



オーダーメイドとは異なり、打合せ～設計～製作にかかる時間を大幅に短縮可能です。



規格化することで材料ロスの削減・製作にかかる時間の短縮に繋がる、低コストを実現します。



設計～製作～施工まで自社で一貫して行うため、高い品質の商品を提供することができます。

規格サイズ表

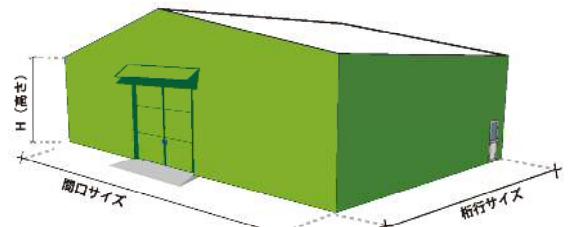
規格ながら、幅広いサイズバリエーションに対応いたします。

※表以外のサイズにつきましては、自由設計にて対応いたします。

※無窓階について：標準仕様の出入口を除外した場合、

新たに消防設備（屋内消火栓等）が必要となる場合がございます。

※施錠について：出入口の施錠方法については、所轄の消防署との協議が必要となります。



衍行サイズ (m)	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	
間口サイズ (m)	10	120	150	180	210	240	270	300	330	360	390	420	450
	15	180	225	270	315	360	405	450	495	540	585	630	675
	20	240	300	360	420	480	540	600	660	720	780	840	900

自動火災報知器必要

自動火災報知器・屋内消火栓必要

高品質を実現するために

山口産業では、創業以来設計～施工までを
自社一貫体制にて行なっています。

How to 設計業務

豊富な実績・ノウハウを持つエンジニアが基本設計、構造設計から生産設計まで一貫して行うことにより、高い品質を確保します。



How to 縫製加工

長年にわたり培った技術とノウハウを活かし、全国に4箇所ある自社工場でお客様のご要望に合わせて一点一点裁断から溶着まで行います。



How to 鉄骨加工

ベテランから若手までの一人一人が高い品質を保持し、信頼性の高い製品を提供しています。
※Mグレード取得(本社工場)

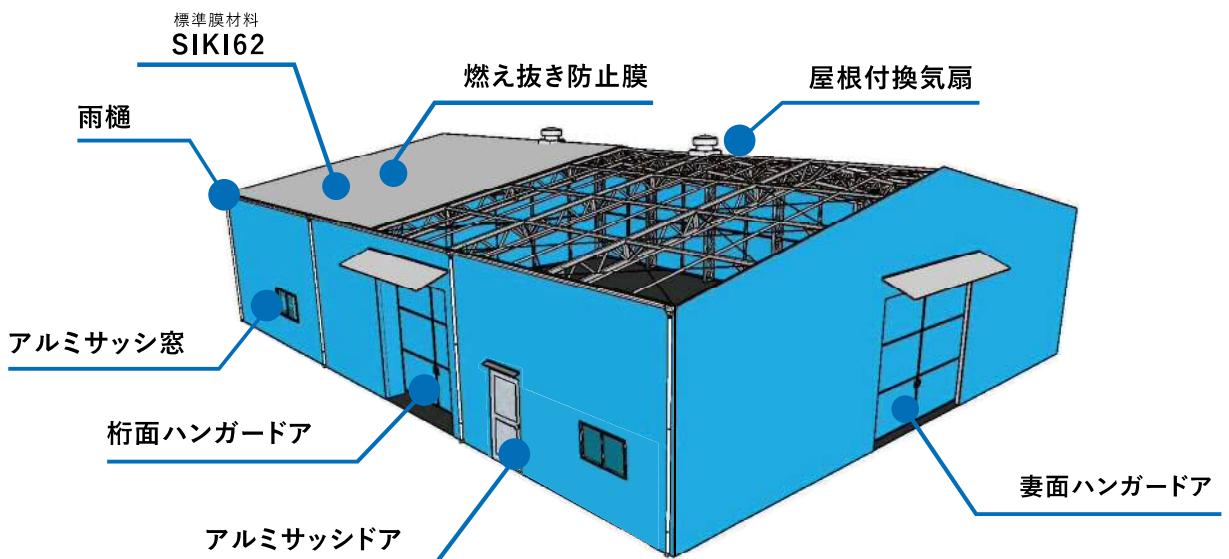


How to 現場施工

各地に拠点がある為、全国への対応が可能です。その為、新築だけでなくアフターメンテナンスも迅速な対応を行なうことができます。



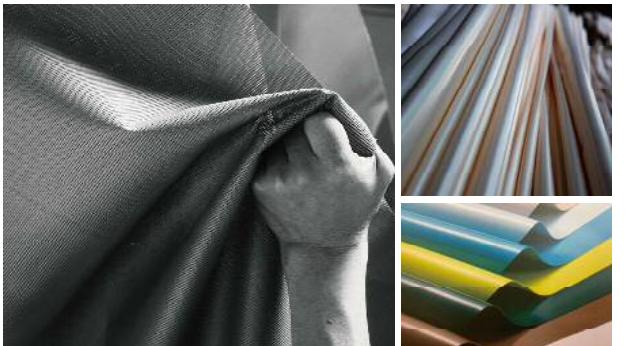
オプション設備一覧



ハンガードア 庇（出巾 900 付）

最も一般的な鉄骨フレームに膜材を張ったドアを上部から吊った引戸です。コストパフォーマンスに優れるのはもちろん、膜材料が軽量な事から比較的大きな開口を設けることも可能です。

ドア種類	間口(m)	ドアサイズ (m)
桁面	共通	W6xH4
	10	W4xH4
妻面	15	W5xH4
	20	W5xH4



標準膜材料 SIKI62

日本の四季をイメージした全8色のカラーバリエーションがあり、周囲の景観と溶け込み、倉庫のイメージアップにつながります。さらに、世界唯一の特殊なコーティング方法（Preconstraint 製法）を採用し、表面はPVDF フッ素コーティングとする事で、耐久性能・防汚性能・防カビ性能、滑雪性能に優れています。

Point

防炎・高耐久・PVDF 防汚・イメージアップ・防カビ・撥水



可燃物収容倉庫用 燃え抜き防止膜

収容物が可燃物の場合は、建築場所により内膜を設置する必要があります。SIKI62 とガラスクロスを組み合わせることにより、可燃物収容倉庫にも対応可能となります。



アルミサッシャードア (W855xH2035)

人の出入り用のドア。倉庫に取付ける事で、作業効率の向上に貢献します。※ドアの長手方向の取付位置は、両端以外のスパンとなります。



アルミサッシ窓 (W1700xH900)

アルミニウムを主成分とする合金で製造された枠を使用した窓。加工がしやすく耐久性に優れています。

屋根付換気扇



天井に取り付ける換気扇は、主に夏季の天井付近の熱だまりの解消に効果があります。ガルバ鋼板を採用し、高い耐食性・耐候性を実現します。※自然換気・強制換気からお選び頂けます。



雨樋

雨水を集めて排水させる筒状の建材。屋根から流れ落ちた雨水による騒音、建屋の腐食、水たまりや溝を防ぎます。



テント膜材張り替えのご提案

FAQ よくある質問

テント膜は張り替える事で、長期使用が可能です。



Before

テント膜の寿命は
使用状況で異なりますが、15年程度です。

年数の経過したテントも、張り替えリニューアルをすれば、見違えるように変身します。張替に伴い、フレームに補強が必要な場合も同時に対応致します。



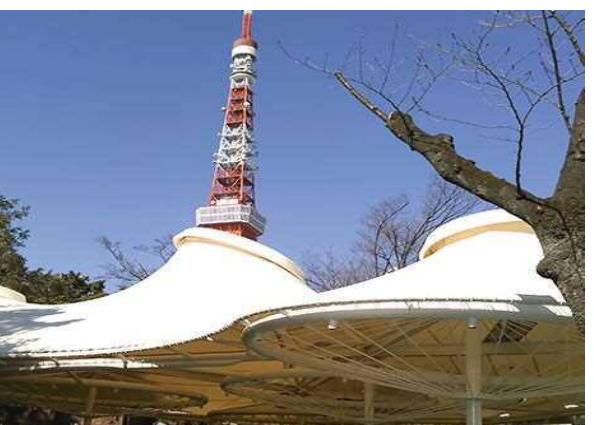
After



Before

自社のテントだけでなく
他社のテントの張り替えも対応致します。

自社のテントではなく、他社のテントも張替いたします。張替をお考えのお客様もお気軽にご相談ください。お客様の状況にあった納得のご提案をお約束致します。



After

Q. 膜構造建築物のメリットは何ですか？

A. 膜構造建築物は「軽い」「柔らかい」「強い」という大きなメリットに加え、美しく軽快な空間を創り出すことが可能ですが、またシンプルな構造かつ軽量な素材構成であるため、計画におけるトータルコストの削減につながります。また、膜の高い透光性は日中に外部の光を取り込むため、照明器具等によるランニングコストの削減にもつながります。

Q. 倉庫以外の用途でも建築可能ですか？

A. 可能です。作業場、スポーツ施設、ファサード、日よけ・雨よけなど膜材料は多用途に使用できます。膜に関することは何でもご相談ください。

Q. 確認申請は必要ですか？
手続き期間はどれくらいですか？

A. 建築確認申請手続きは必要になります。期間は、確認申請提出前の事前調査に約1ヶ月、審査期間はおおむね1ヶ月～1ヶ月半となります。

Q. テント倉庫／膜構造建築物の耐用年数は？

A. 使用環境と使用膜材によりますが、一般的にテント倉庫で10年間、膜構造建築物で15年～20年が張替えの目安となります。また、長寿命の恒久膜もございます。詳しくはお問い合わせください。

Q. テント倉庫に可燃物の保管は可能ですか？

A. 可燃物の収納は可能です。建物用途、可燃物の種類や保管容量によって使用できる膜材が異なりますので、ご相談ください。

Q. 山口産業は
どんなエリアまで対応できますか？

A. 日本全国で対応可能です。

Q. 積雪・台風に対しての安全性に
問題はありませんか？

A. 問題ありません。全国の基準に準じた設計が可能です。

Q. 照明の設置は必要ですか？

A. 当社オリジナル膜材（SIKIシリーズ白色）は透光率が19%と高く、日中の照明はほとんど必要ありません。そのため、ランニングコスト削減につながります。別途、照明を取り付けることも可能です。

Q. 発注からの納期は？

A. 確認申請の建築許可後、製作に1ヶ月、取付け10日間です。（約500m²の建屋の場合）

Q. テント生地の部分的な張替や
補修は可能ですか？

A. 可能です。小さな破れに関しては、同一の生地を専用ボンドで貼り付けることで部分補修が可能です。※50センチ以上の破れについては、ご相談下さい。

Q. テント生地の種類は？

A. 不燃膜、防炎膜、透明フィルム、遮光膜、断熱シート（内張）、遮熱シート、防汚シート、結露防止シート（内張）などがあります。

Q. 消防設備は必要ですか？

A. 消防法に準じて、必要となります。用途・規模により必要設備が異なりますので、ご相談下さい。

Q. 清掃（メンテナンス）方法は？

A. 専用洗浄剤か中性洗剤で清掃して下さい。

関連製品ラインナップ



TYPE-1

自由設計テント倉庫

敷地に合わせて変形する建屋や、大規模な倉庫が欲しいなどお客様のニーズに合わせて製作いたします。コストパフォーマンスに大変優れしており、短納期で建築することができます。また、内部間柱を用いずに大規模空間を実現し、お客様の収納物を自由に配置する事が出来ます。透光性が高く、屋根は照明なしでの倉庫内作業が可能で、ランニングコスト削減に繋がります。

— Point —

高品質・ランニングコストの削減・自由設計による大規模空間・独自性



TYPE-3

伸縮式テント倉庫

蛇腹構造のテントが伸縮し、用途に合わせて都度自由自在に倉庫の面積を変えることで、長尺物や重量物の保管から搬入・搬出をスムーズに行うことができます。テントを縮めて屋外の状態にすることで、クレーン・フォークリフトでの搬入出作業や大型車両の出入りも可能となります。伸縮操作は手動式と電動式があり、耐久性の高いフレームによる伸縮機構で長期にわたり使用可能です。



TYPE-4

固定移動式テント

高強度、大空間を保持したテントを移動可能とすることで作業場・塗装場など様々な用途で活用することができます。収容物を移動させずに、屋内・屋外でしっかりと養生することができます。また、テントが移動することで悪天候や内部換気に対応する作業空間の実現も可能です。



TYPE-2

テント上屋

テント特有の軽量性を活かし、柱を減らした設計が可能な建屋です。大型トラック等の侵入経路確保や、作業場所を確保することができ、生産性や作業効率の向上に大きく貢献出来ます。高さも柔軟に設定する事ができ、大型ウイング車の荷捌きも可能な高さを確保出来ます。雨天時の作業に最適です。

— Point —

作業効率改善・コストダウン・透光・高耐久・スペースに合わせた自由設計が可能



TYPE-5

シート間仕切り

工場内外の作業スペースを間仕切ることで、省エネ効果や明るい環境での作業効率アップ、スペースの有効活用、侵入防止などあらゆる問題の解決に貢献します。設置場所の配管、設備等の諸問題もお客様と一緒に解決します。また、シート間仕切りの施工は、一般的な建築工事より早い為、工事による影響を少なくし、改善の効果を早く実現致します。



TYPE-6

ネット製品

防鳥・防風・防球・落下防止など様々なものを防ぎます。作業場などの工事と合わせて、鳥やイノシシなどを防ぐネット工事も一括で請け負います。



詳細は「産業用テント」カタログをご覧ください。



About Us

ー会社情報ー

約50年にわたりお客様のニーズに応えてきた私たち山口産業は、これからも数多くの課題解決に向けて膜構造の提案を続けていきます。



山口産業株式会社

1972年にテントシートの縫製工場として創業した山口産業は、わずか3年後には自社でフレーム製造も行うようになり、現在はテント倉庫に留まらず、デザイン性の高い膜天井やシェードセイル、大規模なスポーツ施設や子どもたちが飛び跳ねられる遊具まで、さまざまな膜構造の製造に取り組んでいます。これまで長く「膜で街を未来を華やかに」をスローガンに掲げ、膜構造の限りない可能性を模索し、それらを実現するための研究を重ね、世の中の人々に、そして何よりお客様に喜んでいただけるモノづくりに励んできました。そしてこれからは、ますます広い視野と柔軟な発想を持ち、「社会課題の解決」にも取り組んでいきたいと考えています。私たちが目指してきた「納得の空間づくり」に加えて、もっと「世の中の役に立つ」「新しい未来を築く」を実現していきたい、山口産業

に「できない」という言葉はありません。持てる技術と積み重ねてきた経験を武器に、設計・製造・施工のプロフェッショナルがチームとなって新たなVision「Wrap the Future」を実現していきます。



Information

本社

〒846-0031 佐賀県多久市多久町3555-120

tel.0952-74-2525(代表) fax.0952-74-2527

北九州営業所

〒802-0022 福岡県北九州市小倉北区上富

野4丁目16-36 tel.093-967-3517 fax.093-

967-3518

北関東営業所

〒319-1556 茨城県北茨城市中郷町日柳字

宝森2138-2 tel.0293-44-6150 fax.0293-

44-6151

福岡営業所

〒813-0032 福岡県福岡市東区土井1丁目

11-7 グレース土井102号室 tel.092-292-

1385 fax.092-292-1386

東京営業所

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-

3 タイクビル5F tel.03-5839-2677 fax.03-

5839-2678

仙台営業所

〒981-0911 宮城県仙台市青葉区台原1丁

目10番4-101 tel.022-346-7531 fax.022-

346-7541

名古屋営業所

〒452-0822 愛知県名古屋市西区中小田井5

丁目300 丸協ビル103号室 tel.052-982-

7530 fax.052-982-7531

大阪営業所

〒598-0001 大阪府泉佐野市上瓦屋661-1

第2リヒビル503号室 tel.072-462-7800

fax.072-462-7801

Voice

社員一人ひとりがチャレンジ精神を胸に、日々仕事に向き合っています。

鉄工



製造部鉄工課
南里 昭敏

私が入社した頃は今ほど分業化もされておらず、部材をつくって、運搬して、施工して、と一人で多くの業務を行っていました。今は人も増え、部署ごとに仕事が専門化しており、チームワークが大切になっていると感じます。2001年の北九州博覧祭で大きなパビリオンを建てたときは、たくさんのスタッフと夜中までかかって作業しました。とても達成感がありましたし、私の財産となった経験です。自然災害が多い昨今、簡単に輸送てきて、簡単に開くことのできる膜構造物をつくりたい。自分が生まれ育った佐賀から、世の中を変えるようなものづくりに挑戦できるというのは、とても挑み甲斐がありますね。

設計



設計部
原田 奏司

膜構造を扱うという専門性の高さもあり、社内には熟練の技術者ばかりです。私もそういう人材を目指していますし、コンマ何ミリの正確さで製作図を起こすことには自信があります。自分の気持ちひとつで大きく成長できる労働環境ですね。これまでに社外のデザインコンペに参加させていただいたこともありますし、新しいことに挑戦するチャンスも自分次第。社内で出た新しいアイデアがプロジェクト化されることもあり、実際に試作品をつくったこともあります。海外の膜構造建築を見たりすると、私たちにもできることがもっとあるはずだと、希望と自信を持つことができますね。

縫製



製造部縫製課
大串 望

山口産業入社前は、自動車のシート生地の縫製をやっていました。かなり特殊な技術職だったと思いますが、もっとスケールの大きな仕事をやってみたい、地元である佐賀で働きたいと思い、26歳のときに入社しました。私のように中途入社する人も多く、最近は特に会社全体が若返っているように感じます。以前扱っていたようなシート生地とは違い、膜という素材は新しい機能が可能になったり、それをどう活かせるかを考えたり、可能性は無限大。私自身、ETFEフィルムという素材を活かした膜を農業に転用できないかと、時間をかけてチャレンジしているところです。

営業



北九州営業所
北浦 生二

前職では企業の信用調査を行っていたので、転職する際は業績と財務内容が良い企業を探していました。ちょうどそんなタイミングで、山口産業と出会ったんです。その当時、私の目から見ても産業用テントの成長性を感じたことを覚えています。実際にここ数年も成長を続けており、社員数も増加し、それに合わせて全社的に若返っている印象ですね。現在は産業用テント、特にテント倉庫で「業界No.1になる」という目標を掲げており、社内にもとてもポジティブな雰囲気が満ちています。これからもますます成長していくために、若い世代にたくさんの挑戦の場をつくっていきたいですね。



施工実績

これまでに山口産業が建築してきた
テントの一部をご紹介します。



本社

〒 846-0031 佐賀県多久市多久町 3555-120
tel.0952-74-2525 (代表) fax.0952-74-2527

東京営業所

〒 101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-3-3 タイワビル 5F
tel.03-5839-2677 fax.03-5839-2678

名古屋営業所

〒 452-0822 愛知県名古屋市西区中小田井 5 丁目 300 丸協ビル 103 号室
tel.052-982-7530 fax.052-982-7531

大阪営業所

〒 566-0043 大阪府摂津市一津屋1丁目22-2
tel.06-6195-8940 fax.06-6195-8941

仙台営業所

〒 981-0911 宮城県仙台市青葉区台原 1 丁目 10 番 4-101
tel.022-346-7531 fax.022-346-7541

北関東営業所

〒 319-1556 茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺 2138-2
tel.0293-44-6150 fax.0293-44-6151

北九州営業所

〒 802-0022 福岡県北九州市小倉北区上富野 4 丁目 16-36
tel.093-967-3517 fax.093-967-3518

福岡営業所

〒 813-0032 福岡県福岡市東区土井 1 丁目 11-7
グレース土井 102 号室 tel.092-292-1385 fax.092-292-1386

八女営業所

〒 834-0047 福岡県八女市稻富137-1
tel.0943-30-5900 fax.0943-30-5901

宮崎営業所

〒 880-0805 宮崎県宮崎市橘通東4-1-4 河北ビル211号室
tel.0985-44-2095 fax.050-3142-2103